第57期(2019年) 第2四半期決算報告

2019年8月20日





- 2 第57期の当社を取り巻く環境と対応
- 3 第57期通期見通し
- 4 英国Waterman Group Plcについて

第57期 第2四半期決算概要(連結)

■ 増収増益、過去最高を更新

	項	Ħ		第56期実績	第57期実績	前期比 (%)
受) <u>-</u>	È	高	33,145	41,575	125.4
売		_	高	31,187	32,465	104.1
営	業	利	益	2,233	2,696	120.7
経	常	利	益	2,258	2,752	121.9
	社株主 半 期	に帰属 純 利		1,301	1,707	131.2

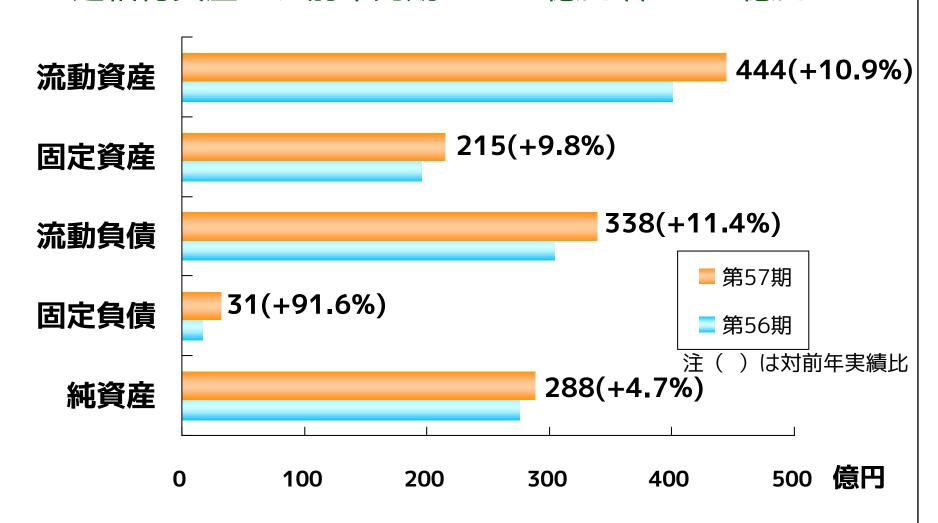
第57期 第2四半期決算概要(個別)

■ 増収増益、過去最高を更新

	項	目		第56期実績	第57期実績	前期比 (%)
受	ž	È	高	22,937	26,203	114.2
売		E	高	20,599	21,543	104.6
営	業	利	益	1,988	2,252	113.3
経	常	利	益	2,053	2,468	120.2
四	半期	純 利	益	1,235	1,628	131.8

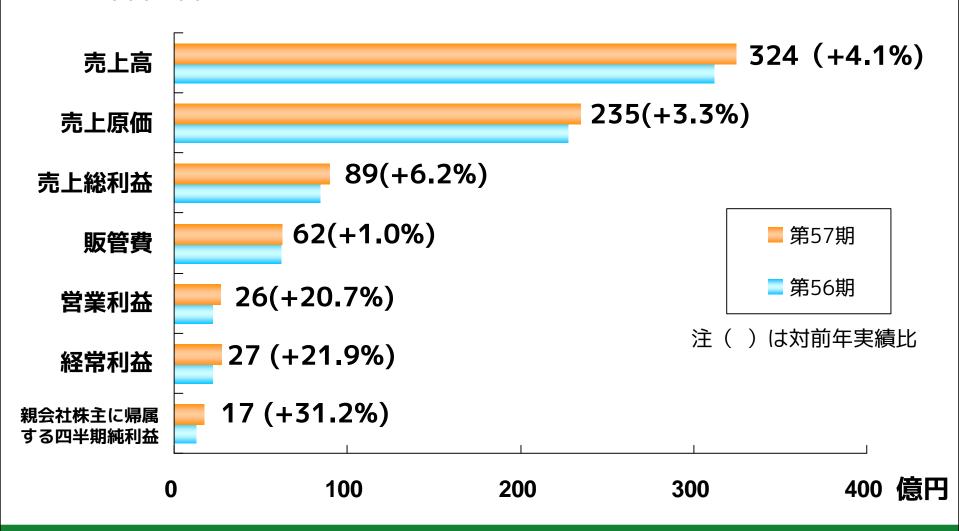
貸借対照表(連結)

■ 連結総資産は、前年同期から63億円増の659億円



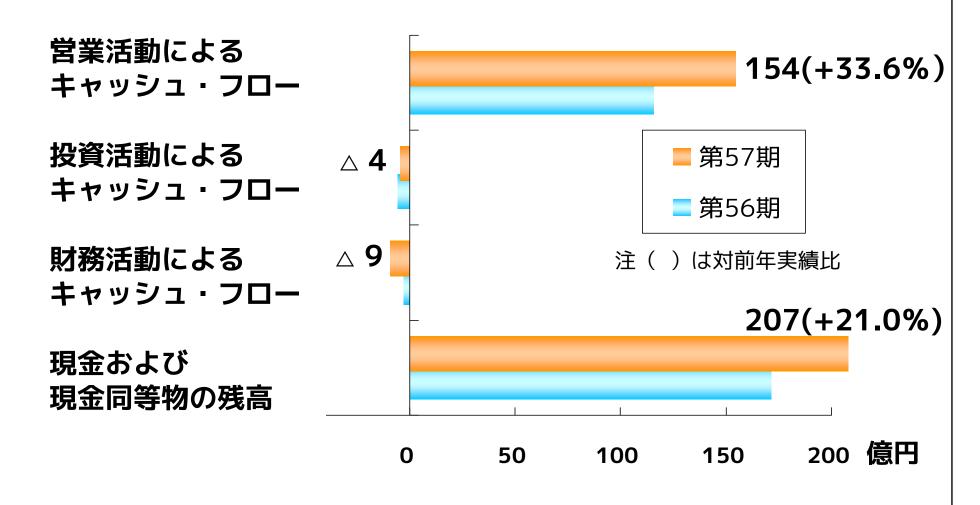
損益計算書 (連結)

■ 増収増益



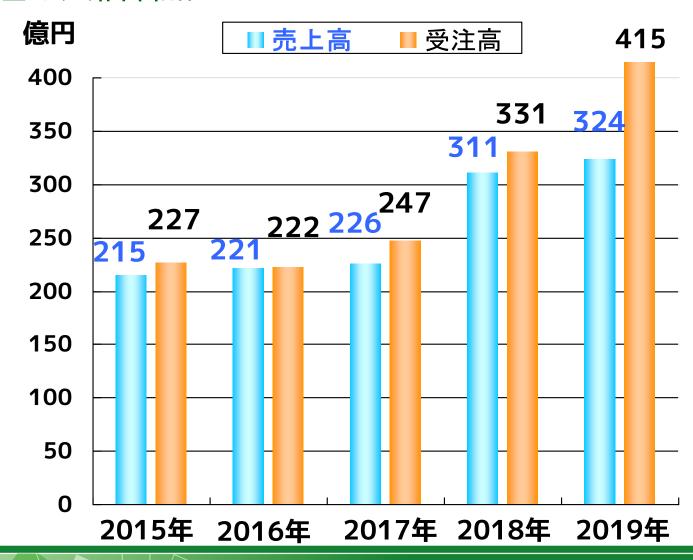
キャッシュ・フロー計算書(連結)

■ 営業活動によるキャッシュ・フローが大幅増



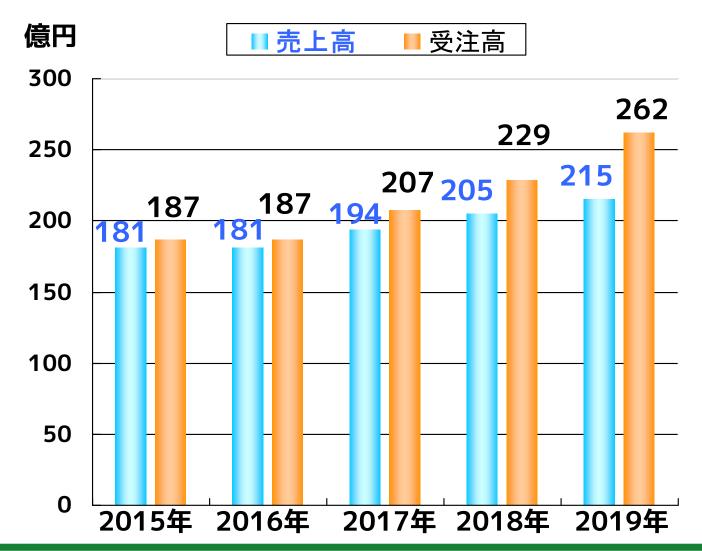
受注高および売上高の推移(連結)

■ 受注は大幅増加



受注高および売上高の推移(個別)

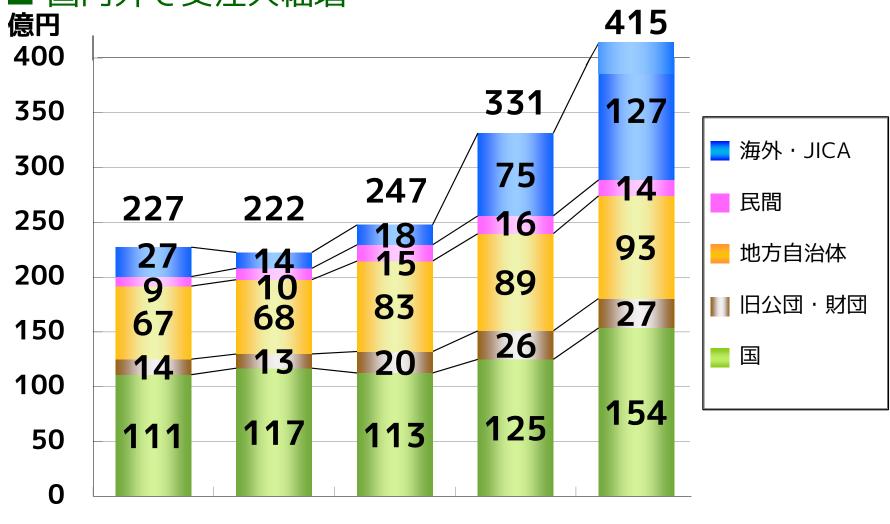
■ 受注・売上は第2四半期過去最高を連続更新



発注者別受注高の推移(連結)

■ 国内外で受注大幅増

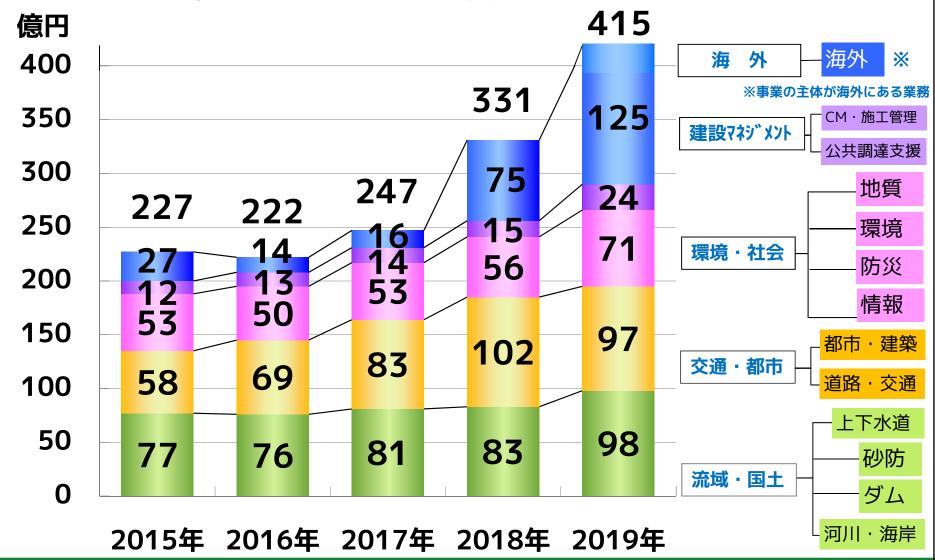
2015年



2016年 2017年 2018年 2019年

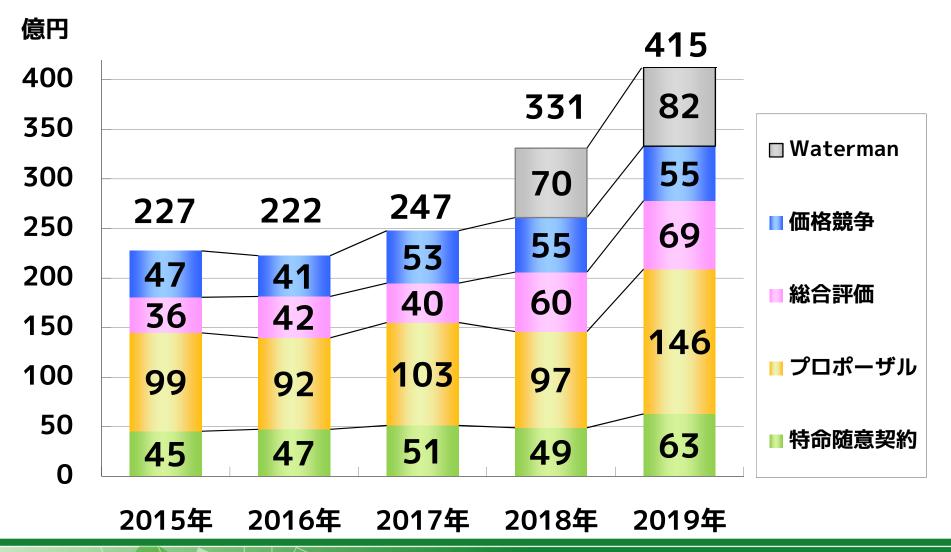
事業部門別受注高の推移(連結)

■ 注力の建設マネジメントも着実に受注拡大



契約方式別受注高の推移(連結)

■ プロポーザルは、海外部門の回復で大きく増加



一件あたりの契約額の推移(個別)

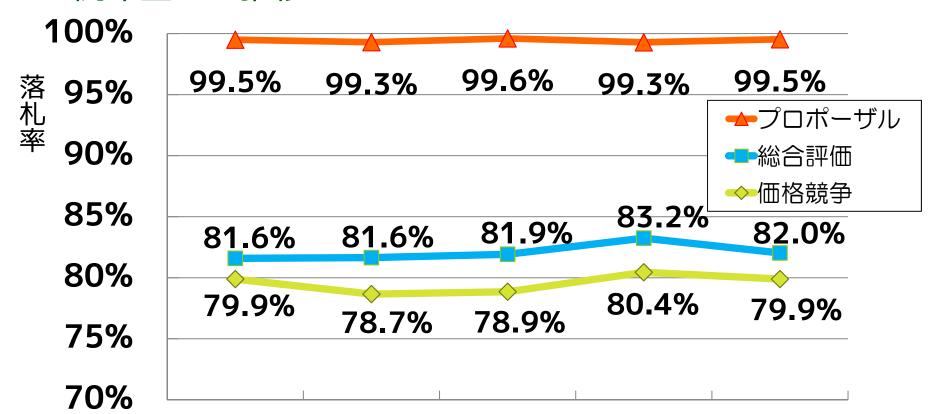
■ 技術者単価上昇による一件あたりの契約額のUP



国土交通省総合政策局 「建設関連業の動態調査」(6月分)第2表建設関連業等動態調査 (建設コンサルタント50社):発注者別・国内海外別

当社の契約方式別平均落札率の推移

■ 例年並みに推移



2015年 2016年 2017年 2018年 2019年

※対象業務:過去5カ年の第2四半期において当社が受注し予定価格が公表された業務

(変更契約は含まない)、JV・共同設計方式により受注した案件、

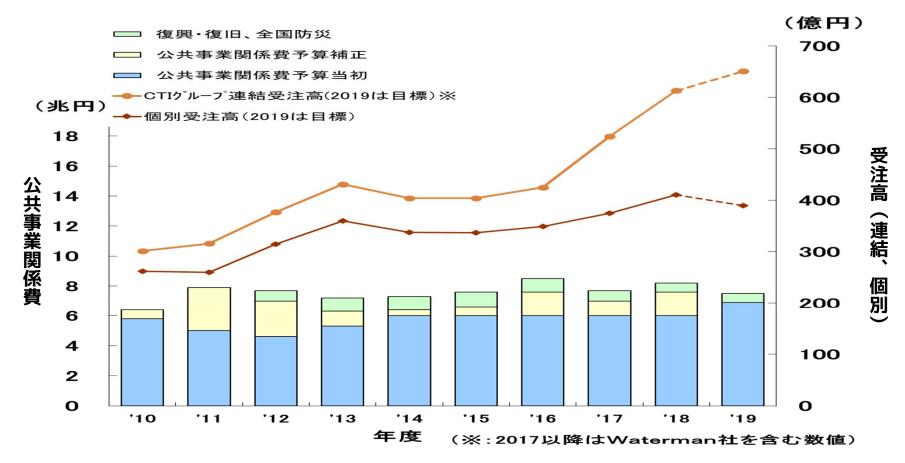
単価契約および特命随意契約の業務は対象外。



- ② 第57期の当社を取り巻く環境と対応
- 3 第57期通期見通し
- 4 英国Waterman Group Plcについて

国内の事業環境(公共事業費の推移と受注状況)

- 堅調な国内公共事業
- ◆ 国内の公共投資は当面堅調に推移



*2019年予算は、平成31年度国土交通省・公共事業関係予算のポイント(2018年12月 財務省)より抜粋

国内の事業環境(「骨太の方針2019」と当社の取り組み)

- 経済財政運営と改革の基本方針2019 (通称「骨太の方針2019」)
 - ~「令和」新時代:「Society 5.0」への挑戦~
 - ◆Society5.0時代にふさわしい仕組みづくり
 - ①成長戦略実行計画をはじめとする成長力の強化
 - ②人づくり革命・働き方改革、所得向上策の推進
 - ③地方創生の推進
 - ④グローバル経済社会との連携
 - ◆経済再生と財政健全化の好循環
 - ⑤新経済・財政再生計画の着実な推進
 - ⑥次世代型行政サービスを通じた効率と質の高い行財政改革
 - ②主要分野ごとの改革の取り組み
 - ⑧歳出改革などに向けた取り組みの加速・拡大
 - ※下線項目は当社において業務生産、社内での関連活動あり

当社の活動 行動憲章の改定①

■ 改定の目的・時期

【目的】社会環境の変化やステークホルダーが求める企業の 役割の変化などに鑑み、CTI グループ全体の持続的 な成長と中長期的な企業価値の向上

【時期】2019年6月1日改定

CTIグループ行動憲章

	行動憲章のテーマ
Sustainability	持続可能な社会の形成への貢献
People First	人を大切にする企業活動の推進と企業文化の醸成
Social Commitment	社会的課題の解決
Trust	ステークホルダーとの信頼関係の構築
Integrity and Fairness	誠実で公正な責任ある企業活動の推進
Risk Management	リスク管理の徹底

当社の活動 行動憲章の改定②

行動憲章全文					
持続可能な社会の形成 への貢献	循環型社会・自然共生社会・低炭素社会の構築に向けて高度 なサービスを提供し、持続可能な社会の形成に貢献します。				
人を大切にする企業活動 の推進と企業文化の醸成	市民が安全で安心して快適な生活を享受できるよう企業活動 を推進します。また、常に人を大切にし、多様な人材が活躍 できる企業文化を醸成します。				
社会的課題の解決	これまで培ってきた技術を活かすことに加え、さまざまなイ ノベーションを推進し、企業活動を通じて社会的課題を解決 します。				
ステークホルダーとの 信頼関係の構築	優秀な人材を育成して質の高いサービスを社会に提供し、適切な情報開示を行い、ステークホルダーとの誠実な対話を重ねながら信頼関係を構築します。				
誠実で公正な責任ある 企業活動の推進	法令・倫理・社会規範を順守し、ステークホルダーとの健全 な関係を維持することで、独立かつ自律した企業として、誠 実で公正な責任ある企業活動を推進します。				
リスク管理の徹底	自然災害、サイバー攻撃、テロなどのさまざまな外的脅威や、 企業活動に関わるリスクに対して、ステークホルダーと必要 な情報・ツール・ノウハウなどを共有し、相互に協力してリ スク管理を徹底します。				

当社の活動 経営計画に沿った事業展開①

CTIグループの安定経営と事業拡大

中期経営計画 2021 — ____

> 基本 テーマ

グループ一体での ダイナミックな 事業分野・市場の拡大 グループ会社の 安定経営、 受注と収益の拡大

グループ ガバナンスの 強化



■ 未来を見据えて変革にチャレンジ

57期 経営計画

- ◆ グループ一体となった質量両面の事業拡大
- ◆ ICT活用による生産性向上
- ◆ 個人が効果を実感できる働き方改革の実践
- ◆ グループガバナンスの強化

当社の活動 経営計画に沿った事業展開②

- 57期経営計画
- ◆ 【基本方針】未来を見据えて変革にチャレンジ

重点テーマ	主な取り組み(下線部のみ紹介)
グループ一体となった 質量両面の事業拡大	①流域・国土事業部門(砂防)のチャレンジ②交通・都市事業部門(都市・建築)のチャレンジ③環境・社会事業部門(環境)のチャレンジ④グローバル展開へのチャレンジ(Waterman、CTII との連携)
ICT活用による生産性向上	① <u>AIを活用した技術開発</u> ② <u>AI、RPAによる社内手続などの生産性向上技術開発</u> ③ <u>組織の強化とツールの導入</u>
個人が効果を実感できる 働き方改革の実践	① <u>社内環境整備による働き方改革</u> ② <u>制度の改定による働き方改革の実現</u>
グループガバナンスの強化	①ガバナンス統括本部設立および基本方針を制定

グループ一体となった質量両面の事業拡大①

- 流域・国土事業部門(砂防)のチャレンジ
- ◆砂防部門、(株)地圏総合コンサルタントとの連携
 - ●UAVを活用して危険地帯の地形計測や砂防施設点検などの業務受注を目指す



図 連携紹介(UAV活用)のリーフレット

グループ一体となった質量両面の事業拡大②

- 交通・都市事業部門(都市・建築)のチャレンジ
- ◆都市・建築部門、日本都市技術(株)、(株)日総建との連携
- ●生産連携:20件、受注金額7.4億円(6月末時点)



釜石市復興CM事業 (日本都市技術(株)との連携)



福島ロボットフィールド設計・施工管理 ((株)日総建との連携)

グループ一体となった質量両面の事業拡大③

■ 環境・社会事業部門(環境)のチャレンジ

◆環境部門、(株)環境総合リサーチとの連携

●生産連携:21件、受注金額7.5億円(6月末時点)





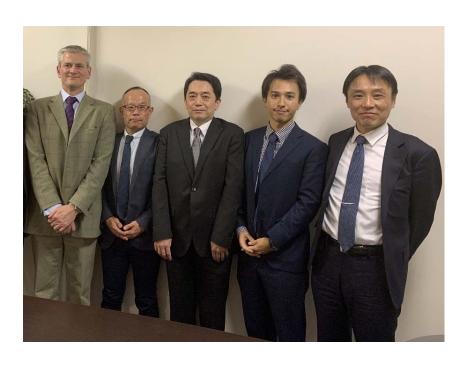
イワナのDNA解析 (個体採取と環境DNA解析試料採取)



土壌診断実施のための施設

グループー体となった質量両面の事業拡大④

- ■グローバル展開へのチャレンジ(Waterman,CTIIとの連携)
 - ◆道路・交通、建築、河川、環境などの分野において新規市場展開 に向けた情報交換・協議を実施



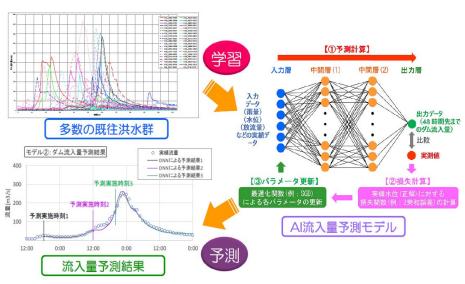
道路性状把握技術の市場展開に関する協議 (London)



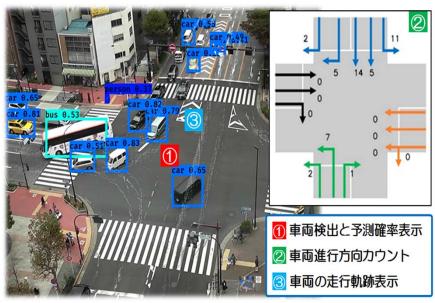
大阪本社でのグループ連携協議

ICT活用による生産性向上①

- AIを活用した技術開発
 - ◆ダム流入量予測や高潮・波浪予測システムの開発
 - ◆橋梁損傷診断、交通量計測システムの開発
 - ◆大気汚染予測、樹木判別システムの開発 など24の技術開発



ダム流入量予測



画像解析による交通量計測



ICT活用による生産性向上②

- AI、RPAによる社内手続などの生産性向上技術開発
- ◆AI、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の積極的な活用
 - ●営業事務支援(業務評定点の自動集計、積算自動化)
 - ●プロポーザル作成事務支援 (担当部署への要請書自動配信、 参加表明書や提案書の自動作成)
 - ●社内事務処理支援 (社内アンケート集計・分析、 新規図書登録) など10の技術開発



プロポーザルの特記仕様書の内容から類似 提案書を抽出、作成を支援するシステム

ICT活用による生産性向上③

- 組織の強化とツールの導入
- ◆業務効率化推進室の設置
 - ●業務、事務手続き効率化のためのシステム開発支援、社員教育
- ●RPA社内展開のためのRPAヘルプデスクの開設、研修
- ◆事業所のITヘルプデスク設置
- ●事業所のPC設定、トラブルの解決
- ●スマートワーキングツールの活用・展開
- ◆スマートワーキングツールの導入
- ●Skype,Teams,OneDrive,Yammer,CTIWikiなど
- ●上記ツール活用のためのIT研修の実施

個人が効果を実感できる働き方改革の実践①

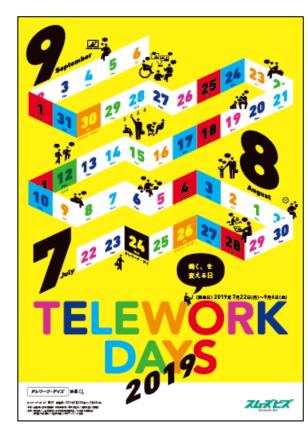
- 社内環境整備による働き方改革
 - ◆多様な働き方を支援する環境整備
 - ●本社、東京本社内の会議室、打合せスペースを増設
 - ●全会議室にTV会議システムを設置、ペーパーレス会議を促進 しストレスのない会議進行のため大型モニターを増設(13台)
 - ●業務集中スペースの確保
 - ●リフレッシュスペースを拡大
 - ●テレワークのための社内外 サテライトスペースの確保
 - ●Wi-Fiの設置
 - ●モバイル機器の導入 (約1,200人が利用)



リフレッシュスペースで懇親会

個人が効果を実感できる働き方改革の実践②

- 制度の改定による働き方改革の実現
- ◆テレワーク勤務制度の導入(2019年6月) サテライトオフィス、モバイルワーク による柔軟な働き方を可能とする制度
 - ●「テレワーク・デイズ2019」への参加 東京都などが展開する働き方改革の国民 運動、東京オリンピックを見据え、実施
- ◆休暇制度の充実
 - ●時間休制度の導入
 - ●積立有給休暇制度の導入



テレワーク・デイズ2019 ポスター



- 2 第57期の当社を取り巻く環境と対応
- ③ 第57期通期見通し
- 4 英国Waterman Group Plcについて

第57期通期見通し(連結)

■ 増収増益を見込む

	項	E		第56期 (実績)	第57期 (見通し)	前期比 (%)
受	注	<u>-</u> -	高	60,117	63,000	104.8
売	上高			58,443	62,000	106.1
営	業	利	益	3,046	3,550	116.5
経	常	利	益	3,167	3,600	113.7
親会	社 株 主 期		する 益	1,893	2,250	118.8

第57期通期見通し(個別)

■ 増収増益を見込む

	項	目		第56期 (実績)	第57期 (見通し)	前期比 (%)
受) <u>-</u>	È	高	41,053	39,000	95.0
売	_	<u>-</u>	高	36,768	40,000	108.8
営	業	利	益	2,681	2,950	110.0
経	常	利	益	2,821	3,150	111.7
当	期	屯 利	益	1,778	2,050	115.3
配			当	25円	25円	



- 2 第57期の当社を取り巻く環境と対応
- 3 第57期通期見通し
- **英国Waterman Group Plcについて**

2019年 上期(1月~6月)のWatermanの業績概要

■ 増収増益

	項		▤		2018年 1~6月実績	2019年 1~6月実績	2019年 通期予想
売	上			高	7,059	7,169	14,000
営	業利		益	229	328	650	
税	引	前	利	益	227	303	600

プロジェクト紹介

~ 歴史的価値のある図書館の改修 ~

- オーストラリアにある1905 年建造のニューサウスウェール ズ州立図書館の改修(改修費用:12億円)
- Watermanは建物の安全対策(火災対策の全面見直しなど)、 新しい展示・学習スペースの構築に関しコンサルティング サービスを提供





改修により新たに設けられた展示・学習スペース

職業実習制度の推進企業として受賞

- 職業実習制度への取り組みが認められロンドン・サザーク地区の実習実施企業大賞を受賞
- ロンドン・サウス・バンク大学との連携は英国教育相にも認められ、2019年2月に教育相と面会し、実習制度のメリットについて意見交換
- 新規の職業実習プログラムの開発 にも積極的に参画



トピックス

- 1 会長の村田和夫が「建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰」を受賞
- 2 名誉顧問の石井弓夫がACECC Achievement Award(功績賞)を受賞
- 3 副社長執行役員の寺井和弘が(公社)日本技術士会会長に就任
- **企業展示館「CTI ヒストリアム」を開設**
- **5** 土木学会と当社が、ラジオ番組「ドボクのラジオ」を開始
- 6 「福ごはんプロジェクト」の一環で野菜を当社で再販売

代表取締役会長 村田和夫が 「令和元年度 建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰」を 受賞しました

● 受賞日:2019年7月10日

● 内 容:

「多年にわたり建設コンサルタント業に精励し業界の発展に寄与するとともに、公共の福祉の増進に多大な貢献をした」として、当社代表取締役会長の村田和夫が国土交通大臣表彰を受賞しました。



名誉顧問の石井弓夫が ACECC Achievement Award(功績賞)を受賞しました

● 受賞日:2019年4月17日

● 内 容:

この「功績賞」は、国際的な 土木技術の進歩またはアジア の社会資本の発展に顕著な貢 献のあった個人で、その業績 が国内において認められてい る個人が対象です。



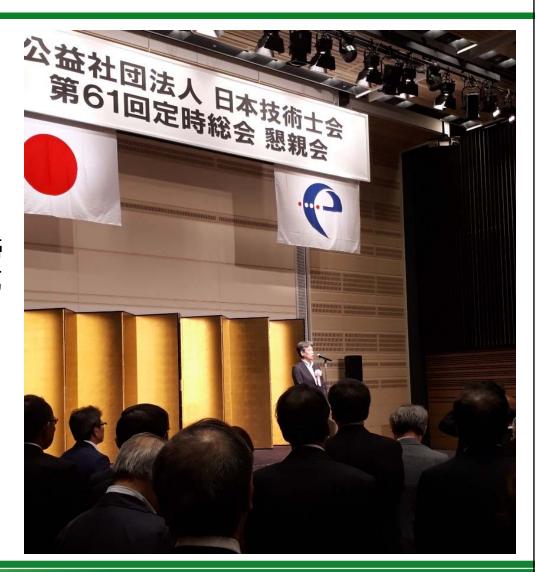
ACECC (アジア土木学協会連合協議会)

代表取締役副社長執行役員の寺井和弘が(公社)日本技術士会会長に就任しました

● 就任日:2019年6月13日

● 内 容:

日本技術士会 第61 回定時総会後 の臨時理事会において、代表取締 役副社長執行役員の寺井和弘が第 22代会長に就任しました。



企業展示館「CTI ヒストリアム」を開設しました

● 開設日:2019年6月14日

● 内 容:

企画展示として(財)建設 技術研究所初代所長・内海 清温氏の歩み、当社の現在 の企業活動をパネルで紹介 しています。



土木学会と当社が、 ラジオ番組「ドボクのラジオ」を始めました

● 開始日:2019年5月1日

● 内 容:

土木学会と当社が提供するインフラバラエティ番組「ドボクのラジオ」が放送開始となりました。



「福ごはんプロジェクト」の一環で 浜町マルシェであまった野菜を当社で再販売しました

● 開催日:2019年7月1日

● 内 容:

社会的課題として認識されている「フードロス問題」の対策としてTokyo Good Manners Projectが主催する「福ごはんプロジェクト」の一環です。



ご清聴ありがとうございました!

